

# 弁天娘女男白浪 稲瀬川勢揃の場



演目解説 氏原伸

## 【配役】

日本駄右衛門	……	鳥居秀行
弁天小僧菊之助	……	吉川幸代
忠信利平	……	川上章
赤星十三郎	……	岡田真弓
南郷力丸	……	長谷川ちとせ
捕手頭	……	吉川弘次
捕手	……	牧野哲也
捕手	……	福井静穂
捕手	……	今泉希依子
捕手	……	六川ツヤ子

## 【あらすじ】

白浪というのは盗賊のことで、弁天小僧菊之助、南郷力丸、忠信利平、赤星十三郎が次々に日本駄右衛門の手下になり五人組が形成されます。呉服店にゆすり、たかりに入る「浜松屋の場」では、弁天小僧の「知らざあ言って聞かせやしよう。……」の台詞が有名です。五人は浜松屋へ押し入り、金を出せと脅しますが、偶然にも浜松屋の主人幸兵衛が、弁天小僧の実の親で、浜松屋の養子宗之助が、駄右衛門の実子だということが判明し、一同は何も取ることなく稲瀬川堤へと落ちのびます。

五人の盗賊が花道にずらっと並び、盗賊になった生い立ちを語る小気味よい七五調の台詞と、それぞれの役柄にちなんだ着物の柄付けに注目です。

日本駄右衛門が白波の裾模様と肩に描かれた方位磁石、弁天小僧が菊に白蛇、忠信利平が大胆な雲模様、赤星十三郎が尾長鶏に星で、南郷力丸が稲妻の模様と雷獣です。

## 一谷嫩軍記 熊谷陣屋

演目解説 氏原伸



## 【配役】

熊谷次郎直実	……	吉川弘次
源九郎義経	……	牧野哲也
白毫の弥陀六	……	木村智明
梶原平次景高	……	鳥居秀行
相模	……	六川ツヤ子
藤の方	……	福井静穂
堤の軍次	……	吉川幸代
四天王	……	今泉希依子
四天王	……	川上章

## 【あらすじ】

熊谷直実の妻相模は、わが子小次郎の初陣を心配して、一の谷の陣屋まで来ます。そこへ相模が十六年前に仕えていた平経盛の奥方、藤の方が偶然訪ねて来ます。熊谷が合戦で平経盛の首を討ち取ったと相模に話すと、藤の方が息子敦盛の仇を取ろうと斬りかかります。熊谷は藤の方を制止し、討ち取った顛末を語ります。そこへ義経公が自ら首実験（本人の首か検分すること）に向いて来ます。熊谷は門前の制札のとおり討ちましたと首を差し出します。義経は敦盛の首に間違いのないと言いますが、その首は敦盛ではなく、小次郎でした。そこへ梶原景高が現れ、そのことを頼朝公に注進すると駆け出したところ、手裏剣が打たれます。打ったのは石屋の弥陀六という老爺で、義経は平家の武将、宗清ではないかと呼び止め、幼少時に命を助けられた旧恩に感謝します。義経は宗清に鎧櫃を渡します。中には敦盛が潜んでいます。義経が熊谷に出陣を促すが、わが子を犠牲にして武士道を貫いた熊谷は僧形に変わり、修行の旅路につくのであります。